

〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

| | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| 回 | | | | | |
| 覧 | | | | | |

高等教育活性化シリーズ 371 (通算 702 回)

2018 年 8 月 27 日 (月)

個別大学&プラットフォーム形成——

「障がい」ある学生の受入れ・対応の実際と今後

高等教育活性化シリーズ 373 (通算 704 回)

2018 年 9 月 7 日 (金)

インクルージョン共生社会に向けて——

発達障害学生の入学・学修・就労支援の深化Ⅲ

個別大学&プラットフォーム形成——

「障がい」ある学生の受入れ・対応の実際と今後

～ 差別解消に向けて／学生支援の社会連携ネットワーク／合理的配慮と学生支援の質 ～

- ※ 障害学生の受入状況調査とランキング／差別解消法、各地の条例／こんな大学あっていいの？
- ※ 合理的配慮と事例／教育現場の障害者／障害者のリアル／多様性のある教育と社会を拓く
- ※ [東京大] 障害学生支援スタンダード／産学官ネットワーク／PHED事業を通じた取組み
- ※ [日本福祉大] 支援の現状と課題／合理的配慮と教育の質／支援事例の検討／支援の実際

● 講師陣 ●

- 殿岡 翼 氏 / 全国障害学生支援センター 代表
元文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会」委員
- 野澤 和弘 氏 / 毎日新聞社 論説委員
- 近藤 武夫 氏 / (国) 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授
バリアフリー支援室
- 柏倉 秀克 氏 / 日本福祉大学 教授 学生支援センター長
文部科学省 障害学生支援プラットフォーム形成事業委員会 委員

2018 年 8 月 27 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

インクルージョン共生社会に向けて——

発達障害学生の入学・学修・就労支援の深化Ⅲ

～ 発達障害という特性を活かして学び・働く／エンロールMの実際 ～

- ※ 大学における合理的配慮／発達障害学生の適応と事例検討／就労・社会移行支援の実際と今後
- ※ 学生の就活実態／特性を活かして働く／定着のポイント／“ガクプロ”と大学の分業的支援
- ※ シームレス支援の実際と展開～高大接続、修学・就労支援の特徴、卒後のフォローアップ
- ※ 諸外国との比較／キーワードの検証／支援の実際と関連課題／ユニバーサルデザインと多様性

● 講師陣 ●

- 村山 光子 氏 / (学) 明星学苑 理事長室 経営企画課長
- 藤 恭子 氏 / 株式会社 Kaien ガクプロ担当
- 日下部貴史 氏 / (国) 富山大学 学習支援センター
アクセシビリティ・コミュニケーション支援室 コーディネーター
- ピーター・バーニック 氏 / (国) 長崎大学 障がい学生支援室 助教

2018 年 9 月 7 日 (金) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



[参加要領]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 371 「障がい」ある学生の受入れ・対応の実際と今後
2018年8月27日(月) 10:00~16:50

会場： 剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町) 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

日時： ■高等教育活性化シリーズ 373 発達障害学生の入学・学修・就労支援の深化Ⅲ
2018年9月7日(金) 10:00~16:50

会場： 日本教育会館 会議室(東京・神保町) 千代田一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833
(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町」A1出口より徒歩3分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>)

| 参加費 | ご一名(資料代を含む) | メディア参加(資料及び音声CD) |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 高等教育活性化シリーズ 371 「障がい」ある学生の受入れ・対応の実際と今後 | 40,000円(税込) 高等教育同人 20,000円(税込) | 41,000円(税込) 高等教育同人 21,000円(税込) |
| 高等教育活性化シリーズ 373 発達障害学生の入学・学修・就労支援の深化Ⅲ | 41,000円(税込) 高等教育同人 21,000円(税込) | 42,000円(税込) 高等教育同人 22,000円(税込) |

- ※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声CDを送付します。
- ※ なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
- ※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
- ※ 受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法： 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 郵便振替 00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は ⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

☆ 高等教育計画経営研究所同人については KKJ の HP でご確認ください。

★ 平成29年度最新版!!『大学一覧』、『短大一覧』、『高専一覧』(重版出来)、『法人一覧』好評発売中!詳しくはウェブへ!!

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

年 月 日

高等教育活性化シリーズ 371

(に✓印を入れてください)

「障がい」ある学生の受入れ・対応の実際と今後

当日参加 メディア参加

高等教育活性化シリーズ 373

発達障害学生の入学・学修・就労支援の深化Ⅲ

当日参加 メディア参加

支払方法 当日払い 銀行振込 郵便振替

必要書類 請求書 見積書 領収書

勤務先

(書類宛名)

所在地

連絡部課・担当者名

TEL

FAX

メールアドレス

| 参加者氏名 | 所属部課役職名 | メールアドレス |
|-------|---------|---------|
| | | |
| | | |
| | | |

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

| 時間 | 講 義 項 目 |
|---------------------|--|
| 10:00 } 11:40 | <p>□ 障害者差別解消法と障害学生支援 ～ 大学エグゼクティブが知っておくべき障害学生支援とは何か? ～ 全国障害学生支援センター 殿岡 翼</p> <p>1. 大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査 (1) 受験可否 (2) 在籍状況 (3) 授業での配慮・支援体制 (4) 大学ランキング</p> <p>2. 障害者権利条約・障害者差別解消法と高等教育 (1) 障害者権利条約と差別解消法の概要 (2) 基本方針 (3) 対応要領と対応指針 (4) 各地の条例</p> <p>3. 文科省検討会報告と今後の課題 (1) 第一次まとめ (2) 第二次まとめ (3) 大学への介助派遣 (4) こんな大学あっていいの? 〈質疑応答〉</p> |
| 11:50 } 13:00 | <p>□ 障害者差別解消における教育と合理的配慮 ～ 多様性のある教育と社会に向けて ～ 毎日新聞社 野澤 和弘</p> <p>1. 合理的配慮とは何か (1) 障害者差別解消法の成立過程 (2) 過度な負担と「建設的対話」 (3) 大学における合理的配慮の事例</p> <p>2. 教育現場の障害者 (1) インクルーシブ教育 (2) 発達障害と合理的配慮 (3) ディスレクシアについて</p> <p>3. 教育と多様性 (1) 日本社会の同調圧力と障害 (2) 行動障害をどうみるか (3) 「障害者のリアルに迫る東大ゼミ」について 〈質疑応答〉</p> |
| 14:00 } 15:20 | <p>□ [東京大] 障害学生支援スタンダードと産学官ネットワークの構築 ～ 東大障害学生支援プラットフォーム事業 (PHED) を通じた取り組み ～ 東京大学 近藤 武夫</p> <p>1. 障害学生支援のスタンダードを構築する (1) 文科省障害学生プラットフォーム事業: その背景と東大拠点が目指すもの (2) 障害学生支援のために求められる多領域にまたがる専門スキルとは</p> <p>2. 産学官連携を通じて障害学生の雇用への移行を支援する (1) 大学でのインターンシップの取り組みと企業との対話・連携 (2) 地域の就労移行支援との連携と残された課題 (主に自治体間移行支援)</p> <p>3. 障害学生をエンパワメントする (1) 障害学生の自己決定・自己権利擁護との対話が大学・企業・地域に求められる背景 (2) エンパワメントに向けて教育機関に期待される取り組みや考え方、地域連携とは 〈質疑応答〉</p> |
| 15:30 } 16:50 | <p>□ [日本福祉大] 障害のある学生への修学支援 ～ 大学に求められる支援体制と支援の実際 ～ 日本福祉大学 柏倉 秀克</p> <p>1. 障害学生支援の現状 (1) 障害学生支援の現状と課題 (2) 文部科学省「障害学生の修学支援に関する2次まとめ」の概要 (3) 社会で活躍する障害学生支援プラットフォーム形成事業の課題と展望</p> <p>2. 合理的配慮と教育の質 (1) 合理的配慮の根拠 (2) 大学における合理的配慮 (3) 教育の本質と方法</p> <p>3. 支援事例の検討 (1) 入試における面接試験の免除 (2) プレゼンテーションやディスカッション重視の演習授業 (3) 学外実習に関する入学前面談 (4) 合理的配慮を提供するために必要な要素</p> <p>4. 日本福祉大学における支援体制 〈質疑応答〉</p> |

| 時間 | 講義項目 |
|---------------------|---|
| 10:00) 11:30 | <p>□ 発達障害学生の入学・学修・就労支援の実際 明星学苑 村山 光子</p> <p>1. 障がい学生の現状と課題 (1) 発達障害学生の支援とは－「何を」「どこまで」支援するべきか？ (2) 現状と課題</p> <p>2. 入学から卒業までの包括的支援 (1) 大学適応の課題 (2) 卒業から就職－社会移行の課題－ (3) 大学における支援のあり方</p> <p>3. 大学における合理的配慮とは (1) 合理的配慮とは (2) 支援の実際－事例紹介－ (3) 誰もが自らの未来を「自己決定」するために</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |
| 11:40) 13:00 | <p>□ 発達障害のある学生の就職支援プログラムの展開 ～ 学外の就活サークル「ガクプロ」の取り組み ～ 株式会社 Kaien 藤 恭子</p> <p>1. 発達障害のある学生の就職活動の実際 (1) 障害学生を取り巻く社会状況 (2) 学生が陥りがちな就活の躓きポイント (3) 診断“非”重視の理由 (4) “カーナビ”的に段取りを支援する</p> <p>2. 特性を活かして働くために (1) 合う仕事・合わない仕事 (2) 活きる特性 (3) 定着するためのポイント</p> <p>3. 大学に求められる支援策 (1) 大学と学外リソースの分業的支援 (2) ガクプロ出前授業の実践例 (3) 発達障害の理解、学生という“特殊”な事情の理解</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |
| 14:00) 15:20 | <p>□ 発達障害学生に対するシームレス支援の実際と展開 ～ 高校からの接続／修学支援と就職活動支援／卒後フォローアップ支援 ～ 富山大学 日下部貴史</p> <p>1. 高校から大学への接続（高大移行） (1) 高校と大学の違い (2) 相談窓口の整備と情報公開 (3) 富山大学における大学体験プログラム</p> <p>2. 富山大学における修学支援と就職活動支援の特徴 (1) 富山大学の発達障害学生支援システム (2) 修学支援の実際：事例あり (3) 就職活動支援の実際：事例あり</p> <p>3. 富山大学における卒後支援の特徴 (1) 卒後就職活動支援～就労移行支援事業所との協働 (2) 就職後フォローアップ面談～定着支援と企業へのアプローチ：事例あり (3) フォローアップ支援から芽生えた社会人としての自覚と自立 (4) フォローアップ支援の課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |
| 15:30) 16:50 | <p>□ 大学における発達障害のある学生の支援の実態と対策 ～ 諸外国との比較を通して日本の支援実践の今後を考える ～ 長崎大学 ピーター・バーニック</p> <p>1. 基盤と背景 (1) それぞれの国の法律等の基盤 (2) 発達障害のある学生の数 (3) 日本における発達障害のある学生の展望</p> <p>2. キーワードの検証 (1) 透明性：確保できていますか？ (2) 紛争解決：最も有効な対策は？ (3) 学生に求められる主体性：文化的側面における葛藤 (4) 地域連携：入学前から、卒業後まで (5) 学内資源と理解啓発</p> <p>3. 支援の実践 (1) 自閉スペクトラム症のある学生の例と関連課題 (2) 注意欠如・多動症のある学生の例と関連課題 (3) 限局性学習症のある学生の例と関連課題</p> <p>4. 今後を考える (1) なぜ対策を講じるのか？ (2) さいばんは みんなにとって そんだらけ (3) 「ユニバーサルデザイン」のススメ (4) 多様性の歓迎へ</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |